

SASUE LIBRARY
町立
指江図書館
TEL0996-88-6500



日本人が学校で習った英語なのに、違う意味で伝わってしまう英語を紹介します。

日本人のちょっとへんな英語
デイビッド・セイン 原案

TAKANOSU LIBRARY
町立
鷹巣図書館
TEL0996-86-1111



たった一度だけ死者と生者を会わせてくれる人がいる。あなたなら、誰に会いたいですか？

ツナグ
辻村 深月 著

図書館においてある本の中から
おすすめの本をピックアップ。
バラエティに富んだ本をご紹介します。

BOOK
町立図書館おすすめ

Pick Up publication

長島 文芸
Nagashima Bungai

ながしまぶんげい

明神俳句会

春一番瀬戸海峡の青き潮 淵脇 護
荒武者のやうに来て去り春一番 二階堂妙子
獵期明け大地揺るがす雉の声 筑前 初市
沸点に塩ひとつまみ花ぐもり 迫口 君代
友逝く日京の山里小雪舞ふ 関 佳代美
雉鳴けば万羽の鶏も首をふる 大塚 早苗
幼子の手を引き春の防波堤 山崎加代子
夕暮や遠くの山で雉が鳴く 二階堂恵子
送る荷の隙間に三つ草の餅 竹内 功
春一番ふけばもうすぐもじやこ漁 大堂 正弘
蓬つむ祖母の香のする餅供ふ 中橋 藤七

長島短歌会

寒の夜の引潮待ちて護岸工事ともにせし老等の詠 浜畑 松枝
報伝わる 風寒き春木ヶ丘に点てんと紫紺の菫春陽にゆるる 林 ヒロ
長雨の止みたる畑にアスパラガス露に光りてたち 本田 幸子
まち芽吹く 夕暮のさやく畑の菜の花は黄に輝きて吾を包みたり 松元 睦子
春一番吹き過ぎる道われの乗る車を追ひかけ花びらが舞ふ 吉田 映子
揺れやまぬ孟宗竹群窓に見る行人岳の灯見へ隠れせし 市尾 操
山の神巡る広場はやや狭くグラウンドゴルフ場に鶯も鳴く 岩下 ち江

創生短歌会

明日の為残しておかん力なり夜来れば妻より早く寝につく 竹之内重信
夜の雨のなかを帰り来家犬は身震いにけり灯火の下 宮元 司
幼子を抱くこともなくなりし手を夕べは膝に揃えておりぬ 石原百合子
衰えし耳が聞きとめいるものに今日は来ている山鳩の声 村上 義彦
言うべきを言わずに戻り来りしが水を呑むたれもいぬ暗がりに 大塚 洋子
白豚が柵より出でて道くぼの溜りし水を飲みて居にけり 野村 益信
人影のたえたる夜の往還を首たれ犬の横切りてゆく 山下 学

天草は霞みて見えず朝の海に伊佐木釣る舟の浮く如く見ゆ 岩下 房代
車の音しばし途絶へし春の午後竹はじく音峽に欲す おやみなき春の嵐は竹群も杉生も揺らしビニールハウスも 米尾 和子
振るごとく桜吹雪の並木路を親子連れ多し番所ヶ丘に 坂之下典子
物故者へ一同黙禱捧ぐれば近くの山に鶯鳴けり 中山タマエ
海沿いの林の中で鶯の初音聞きをり心なごみて 浜田美代子

一般作品

「短歌」
寝床にて深夜ラジオ聞くなれば昔時代をおそへてくれる 町田 末則
頑張れの声よ届けん陸奥の大きに舞う鶴に願いを 中仮屋辰子
「俳句」
足らざるを埋めゆく春の日用品 宗方 清明